

今どきの小学生、あいさつできる子は9割 でも正しい作法は身につけていないようで... NPO調査

2014.1.26 07:00

最近の子供たちは、あいさつはできるけれど姿勢が正しくない。文部科学省などが後援する認定NPO法人「マナーキッズプロジェクト」の調査で、全国の小学生にマナーについて聞いたところ、「ありがとうございます」や「おはようございます」など日常的なあいさつはできているものの、腰を折り曲げてお辞儀しないなど、正しい姿勢が十分に身につけていない傾向であることが分かった。

同プロジェクトの田中日出男理事長は「2020年の東京五輪開催が決まり、“おもてなし”の心がますます求められている。世界中から人が集まる五輪を機に、子供たちには言葉のあいさつだけでなく、心のこもった正しい礼儀作法を身につけてほしい」と話している。

あいさつできる子は9割

調査は昨年10、11月、東京、新潟、高知、福岡など7都県の小学生約2500人を対象にアンケート方式で行われ、あいさつやお辞儀などをきちんと行っているかどうか尋ねた。

それによると、「お世話になったら『ありがとうございます』と言っていますか」という設問には、89%の小学生が「はい」と回答。「あやまるときは『ごめんなさい』と言っていますか」という設問も90%が「はい」だった。

このほか「いただきます」93%▽「ごちそうさま」93%▽「おはようございます」89%▽「おやすみなさい」92%-など、小学生の9割で日常的なあいさつができていることが分かった。

姿勢崩す子は3割超

だが、あいさつに伴うお辞儀となると、きちんとできていない子供もいるようだ。

調査に協力した小笠原流礼法総師範の鈴木万亀子さんによると、正しいお辞儀の仕方は、首を曲げて頭を下げるのではなく、腰から折り曲げて上半身を傾け、終わって上半身を起こしたら、うつむいたりせずに相手の顔をもう一度見るのが基本の動作。しかし、「頭を下げず、腰を折ってあいさつしています」と答えた小学生は67%、「お辞儀をした後、相手の顔を見えています」も69%にとどまり、3割ができなかった。

椅子の座り方にも問題がありそうだ。鈴木さんによれば、正しい座り方は足裏を床につけ、両ひざをそろえて着席し、ひざの上に手を八の字に置き、背もたれにもたれないのが基本だが、「足を床につけて椅子に座っている」のは62%、「両膝をそろえて座っている」は58%、「手は膝の上に八の字にして置いている」は51%と、半数近くが姿勢を崩して座っていた。

鈴木さんは、「家庭や学校では、子供たちに『きちんと座りなさい』ということはあっても、何が『きちんと』なのかを具体的に教えることが少ないのではないかと。子供のころから足を組んだり背もたれに寄りかかったりしていたら、年齢が上がるにつれて姿勢はますます悪くなる」と指摘する。

年齢とともにマナー悪化

ほかにも調査では、生活習慣や社会規範についても聞いた。それによると、「食前に手を洗う」79%▽「食後に歯磨きをする」80%▽「家の手伝いをする」74%▽「両親の言いつけを守る」74%▽「父の日や母の日にプレゼントをする」77%▽「時間を守り遅刻をしない」82%▽「人に嘘をつかない」74%-など、7～8割は良好な結果だった。

ただし低学年（小学1～3年）と高学年（4～6年）では、温度差もあるようだ。

例えば「友達の悪口を言わない」は低学年が85%だったのに対し、高学年は70%で、15ポイントの開きがあった。「靴をそろえて並べる」は低学年81%、高学年69%▽「よくかんで食べる」は低学年64%、高学年57%-と、年齢が上がるにつれてマナーなどの意識が低下する傾向がみられた。

年齢とともに、人間関係にも慎重になっていく様子もうかがえる。

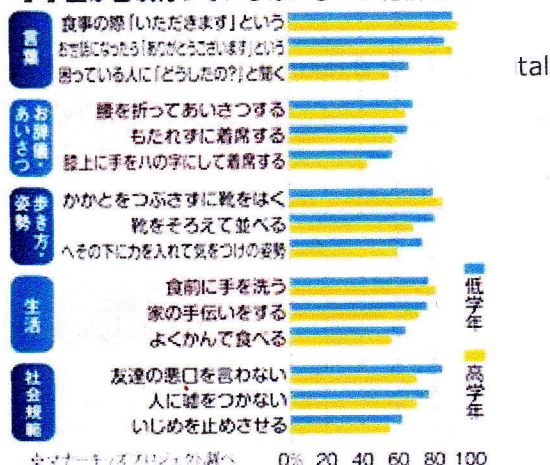
「困っている人に『どうしたの?』と聞いていますか」との設問には、低学年の67%が「はい」と答えたが、高学年は56%だった。「いじめを見たら『もう、やめなさい』と言っていますか」の設問も、「はい」と答えたのは低学年が62%、高学年が55%だった。

心をこめてあいさつを

今回の調査結果について、「子どもの規範意識を育てる」などの著書がある中央教育審議会委員の明石要一・千葉大名誉教授は、「全体的にみて、子供たちの9割近くが『おはようございます』などの日常的なあいさつをしており、7～8割が『両親の言いつけを守る』などの規範意識を持っているのは、予想以上に良好な結果といえる。問題は、心がこもっているかどうかだ。表面的な言葉だけでなく、姿勢を正しくし、相手を思いやる心を持ってこそ、本当のあいさつ。年齢とともに規範意識が低下するのは、心がこもっていないことの表れともいえる」と分析する。

調査を行ったマナーキッズプロジェクトの田中理事長は、「グローバル化が進む中、世界で活躍する日本人を育成するためにも、子供たちに正しい礼儀作法を身につけさせることが大切だ。今回の調査結果をさらに分析し、子供たちのマナー向上活動に役立てたい」と話している。

小学生が日頃行っているあいさつや礼儀作法



© 2014 Microsoft | Microsoft